



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カルラ
 コード番号 2789 URL <http://www.re-marumatu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 善行
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 須郷 浩吉

TEL 022-351-5888

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	6,111	△0.5	214	△34.1	222	△30.8	90	△45.3
28年2月期第3四半期	6,142	0.9	325	△5.7	322	△9.0	165	49.0

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 90百万円 (△45.1%) 28年2月期第3四半期 165百万円 (45.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	15.10	—
28年2月期第3四半期	27.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第3四半期	6,380	3,194	50.0	531.28
28年2月期	6,362	3,163	49.7	526.18

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 3,191百万円 28年2月期 3,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,220	2.1	210	△36.3	210	△35.2	60	△39.0	10.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期3Q	6,021,112 株	28年2月期	6,021,112 株
29年2月期3Q	13,755 株	28年2月期	13,755 株
29年2月期3Q	6,007,357 株	28年2月期3Q	6,007,357 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府による金融政策、財政政策を背景に緩やかな回復基調が見られたものの、依然として個人消費の低迷は続いており、これに加え新興国経済の下振れ懸念もある等、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては個人消費の回復が本格的に至らない中、原材料価格の高止まりや雇用環境の変化に伴う人材コストの増加も加わり、依然として厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは「健康的で美味しい食事」を「より価値ある価格で提供する」ことを基本として、3月より新商品を投入したメニュー施策や、快適な食事空間提供のためにサービス力の強化に努めてまいりました。

売上高につきましては、今年6月にオープンした「まるまつ吉岡店」や同8月にオープンした「まるまつ荒井店」および「まるまつ寒河江店」が寄与したものの、アルコール類の販売キャンペーンの見直しに伴う客数の減少を補うまでには至らず、売上高は前年同期比で減少いたしました。その一方で、新店舗開店に係る初期費用の発生、および人件費の上昇の継続により費用が増加しました。また、一部店舗に係る減損損失等66百万円を特別損失として計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高61億11百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は2億14百万円（同34.1%減）、経常利益は2億22百万円（同30.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90百万円（同45.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は63億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円増加いたしました。

流動資産の合計は、前連結会計年度末と比較して64百万円増加して10億69百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加56百万円と、商品及び製品の増加13百万円によるものです。

固定資産の合計は、前連結会計年度末と比較して45百万円減少して53億11百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得2億39百万円と減価償却費の計上2億4百万円、および長期貸付金の減少45百万円によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比較して12百万円減少し31億86百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少1億20百万円と長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の増加59百万円、および未払費用の増加50百万円によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して30百万円増加し31億94百万円となりました。

この結果、自己資本比率は50.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では平成28年10月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	634,751	691,093
売掛金	20,020	20,586
商品及び製品	151,595	165,139
原材料及び貯蔵品	22,631	17,052
繰延税金資産	19,626	20,053
その他	156,806	155,720
流動資産合計	1,005,432	1,069,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,105,618	2,110,277
機械装置及び運搬具(純額)	70,926	62,531
工具、器具及び備品(純額)	116,636	115,163
土地	1,933,738	1,933,738
建設仮勘定	-	5,611
有形固定資産合計	4,226,919	4,227,323
無形固定資産	83,547	75,488
投資その他の資産		
投資有価証券	1,083	1,083
長期貸付金	336,293	291,183
敷金及び保証金	615,622	618,019
繰延税金資産	56,159	64,062
その他	119,615	109,870
貸倒引当金	△82,417	△75,683
投資その他の資産合計	1,046,356	1,008,535
固定資産合計	5,356,823	5,311,347
資産合計	6,362,255	6,380,993
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,179	206,316
1年内返済予定の長期借入金	894,029	886,158
未払法人税等	142,573	22,330
賞与引当金	20,297	-
ポイント引当金	2,931	3,098
その他	414,768	447,849
流動負債合計	1,658,778	1,565,753
固定負債		
長期借入金	1,391,624	1,459,304
長期未払金	10,400	10,400
資産除去債務	97,240	109,048
その他	40,522	41,964
固定負債合計	1,539,787	1,620,717
負債合計	3,198,566	3,186,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,238,984	1,238,984
資本剰余金	973,559	973,559

利益剰余金	978,041	1,008,649
自己株式	△29,614	△29,614
株主資本合計	3,160,971	3,191,579
非支配株主持分	2,717	2,943
純資産合計	3,163,689	3,194,522
負債純資産合計	6,362,255	6,380,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	6,142,195	6,111,161
売上原価	1,939,751	1,901,247
売上総利益	4,202,443	4,209,914
販売費及び一般管理費	3,876,518	3,995,027
営業利益	325,924	214,887
営業外収益		
受取利息	8,628	7,225
協賛金収入	9,942	9,891
受取賃貸料	60,052	68,193
その他	11,458	10,071
営業外収益合計	90,082	95,381
営業外費用		
支払利息	17,981	12,519
賃貸費用	68,669	73,186
貸倒引当金繰入額	5,498	-
その他	1,717	1,582
営業外費用合計	93,867	87,288
経常利益	322,139	222,980
特別利益		
受取補償金	4,263	-
特別利益合計	4,263	-
特別損失		
店舗閉鎖損失	-	7,479
減損損失	10,838	58,827
固定資産売却損	-	185
固定資産除却損	2,132	102
特別損失合計	12,971	66,594
税金等調整前四半期純利益	313,432	156,385
法人税、住民税及び事業税	145,213	73,888
法人税等調整額	2,338	△8,409
法人税等合計	147,552	65,478
四半期純利益	165,880	90,907
非支配株主に帰属する四半期純利益	234	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	165,645	90,681

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	165,880	90,907
四半期包括利益	165,880	90,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,645	90,681
非支配株主に係る四半期包括利益	234	225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

当社グループの報告セグメントはレストラン事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの報告セグメントはレストラン事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に「レストラン事業」セグメントにおいて58,827千円の減損損失を計上しております。